

第2回 臨時調査(消費税のインボイス制度)結果

広島県中小企業団体中央会

臨時調査の第2回臨時調査のテーマは、「消費税のインボイス制度」です。

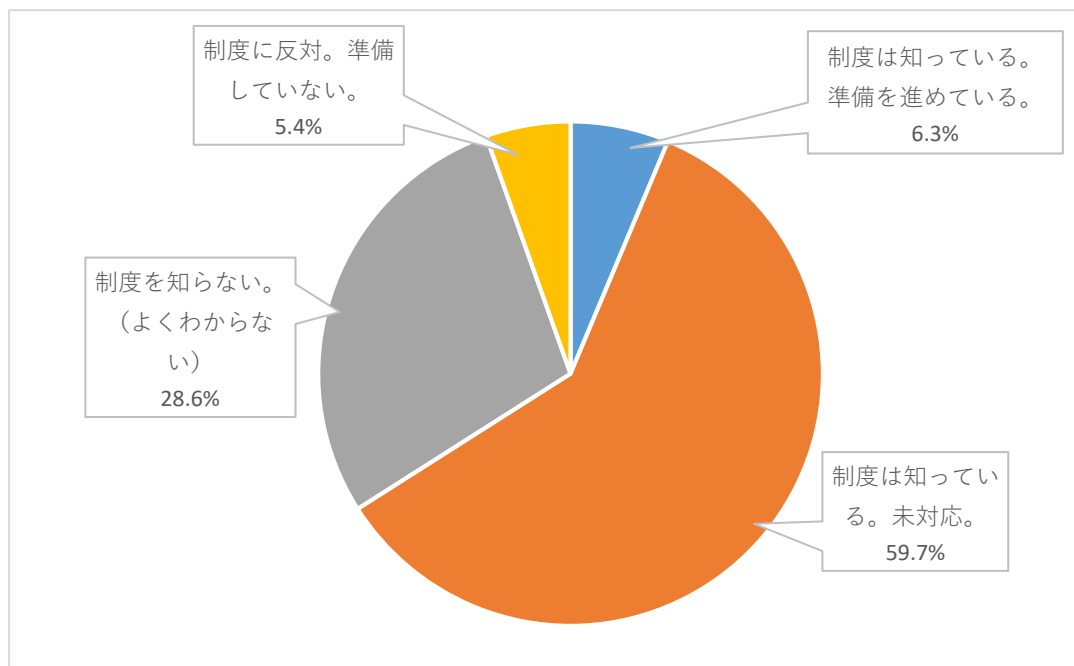
適格請求書等保存方式(「インボイス方式」)が、2023(令和5)年10月1日から導入されることが予定されているので、現時点の準備状況や率直なご意見を伺いました。

■ 調査期間: 令和3年7月29日～8月13日

■ 全体集計結果

1. インボイス制度への準備状況について

「既に準備を進めている」の割合は6.3%しかなく、「制度は知っているが、未対応」の割合が59.7%と6割近くを占めている。「制度を知らない(よくわからない)」の割合も28.6%と全体の3割近くを占める結果となり、制度自体の理解が進んでいない層も相当数存在している。



2. 制度への円滑な対応のために必要と思われる施策

回答数480件。内、有効回答数367件(分からない、反対等の自由意見を除く)。最も求める意見が多い施策が「セミナー・勉強会等の周知策」で全体の約80%となっている。

